

各位

2011年5月9日

ヤマハ株式会社

2011年3月期 決算の概要と
2012年3月期 業績予想について

□ **2011年3月期の概要** — 対前期、減収増益 —

2011年3月期連結売上高は、前期末に住宅設備機器事業子会社の株式譲渡を実施し同事業が連結対象から外れたことによる影響の369億円に加え、為替影響による175億円の減収等により、対前期409億円(9.9%)減少の3,739億円となりました。事業セグメント別には、AV・IT事業、電子部品事業で増収、楽器事業も為替影響を除くと実質増収となりました。

連結営業利益は、全事業セグメントで増益となり、為替影響による減益54億円を吸収し、対前期63億円(92.8%)増加の132億円となりました。連結営業利益の増加に伴い、連結経常利益は対前期61億円(123.4%)増加の110億円、当期純利益は51億円(前期は49億円の純損失)となりました。

なお、2月3日発表の業績予想に対しては、売上高9億円、営業利益7億円、経常利益10億円それぞれ増加しましたが、当期純利益は、前回予想時には見込んでいなかった固定資産の減損を特別損失に計上したこと等により、14億円の減少となりました。

□ **事業セグメント別の売上高・営業損益の状況**

注)2010年3月31日付でヤマハリビングテック(株)の株式譲渡を実施したことに伴い、同社およびその子会社2社が連結対象から外れた為、2011年3月期からリビング事業セグメントを廃止いたしました。

・ **楽器事業 売上高 2,711億円(前期比 1.9%減) 営業利益 86億円(前期比 68.4%増)**

ピアノは、中国をはじめとする新興国市場で好調を維持し、欧州・北米市場にも回復の兆しが見られるものの、日本市場の回復遅れや為替影響により、全体では減収となりました。電子楽器は、ポータブルキーボードが新商品効果により売り上げを伸ばしました。管弦打楽器は、回復基調にあるものの、日本市場での管楽器の苦戦が継続しています。音響機器は、日本・新興国市場で売り上げを伸ばしましたが、北米・欧州の設備市場が本格的回復には至らず、ほぼ前期並みの売り上げとなりました。

音楽ソフト事業は、音楽データ配信、出版等が振るわず減収となりました。音楽教室および英語教室による収入は横ばいとなりました。セグメント全体では、前期に比べ、為替影響による減収137億円もあり、51億円(1.9%)の減収となりました。

損益面では、為替影響による減益43億円を実質増収および増産効果等により吸収し、対前期35億円(68.4%)の増益となりました。

・ **AV・IT事業 売上高 570億円(前期比 4.8%増) 営業利益 25億円(前期比 81.3%増)**

オーディオは、価格競争の激化している北米市場でAVレシーバーが減収となりましたが、日本市場はフロント・サラウンド・システム商品を中心に売り上げを伸ばし、中国をはじめとする新興国市場ではデスクトップオーディオなどが好調に推移しました。業務用通信カラオケ機器は、新モデルが更新需要により大きく売り上げを伸ばしたことに加え、販路拡大を進めた業務用ルーターや、会議システムも売り上げを伸ばし

ました。セグメント全体では、前期に比べ、為替影響による減収 36 億円はありましたが、26 億円（4.8%）の増収となりました。

損益面では、増産および増収により、対前期 11 億円（81.3%）の増益となりました。

・ **電子部品事業 売上高 206 億円（前期比 4.4%増） 営業利益 5 億円（前期 6 億円の営業損失）**

半導体は、携帯電話用音源 LSI が音源ソフト化の進行により減収となったものの、アミューズメント用の画像 LSI や地磁気センサーなどが売り上げを伸ばし、対前期 9 億円（4.4%）の増収となりました。

損益面では、増収および製造原価低減等により、営業利益 5 億円（前期 6 億円の営業損失）となりました。

・ **その他の事業 売上高 251 億円（前期比 8.6%減） 営業利益 15 億円（前期比 172.6%増）**

ゴルフ用品が国内外で好調に推移し増収となったほか、F A 事業も中国市場向け設備投資関連を中心に増収となりました。自動車用内装部品は、前期並みの売り上げを確保しました。セグメント全体では、前年度末でのマグネシウム成形部品事業からの撤退による 50 億円の減収影響があり、対前期 24 億円（8.6%）の減収となりました。

損益面では、製造原価の低減等により、対前期 9 億円（172.6%）の増益となりました。

□ **2011 年 3 月期 ヤマハ株式会社個別業績の概要** — 対前期、増収増益 —

2011 年 3 月期 ヤマハ株式会社個別業績の売上高については、2,483 億円（前期比 8.9%増）となりました。

損益については、営業利益 1 億円（前期 98 億円の営業損失）、経常利益 79 億円（前期 84 億円の経常損失）、当期純利益 39 億円（前期 164 億円の当期純損失）とそれぞれ黒字に転じました。

□ **2012 年 3 月期 業績予想について** — 減収減益を予想 —

2012 年 3 月期は、中国をはじめとする新興国市場の成長継続や北米・欧州市場の回復が見込まれるものの、2011 年 3 月に発生した東日本大震災の影響により、一部の製品において電子部品の調達難による生産停滞が見込まれ、国内での消費意欲の冷え込みや、電子部品事業における顧客の減産等に伴う需要の減少も想定されます。

2012 年 3 月期業績については、上記の影響として、主に上半期に 170 億円の減収、60 億円の減益を織り込み、売上高 3,700 億円（前期比 1.0%減）、営業利益 100 億円（前期比 24.0%減）、経常利益 80 億円（前期比 27.1%減）、当期純利益 50 億円（前期比 1.6%減）を予想しております。

注）文章中の売上高、損益の数値は、原則億円未満四捨五入で記載しております。

また（ ）内は原則前年同期比増減率です。

以上

2011年3月期業績資料

ヤマハ株式会社
2011年5月9日

	前期実績 10年3月期	当期予想 (11/2/3発表) 11年3月期	当期実績 11年3月期	次期予想 12年3月期	次期中間期予想 12年3月期
売上高	4,148億円	3,730億円	3,739億円	3,700億円	1,740億円
国内売上高	2,184億円 (52.7%)	1,830億円 (49.1%)	1,796億円 (48.0%)	1,763億円 (47.6%)	821億円 (47.2%)
海外売上高	1,964億円 (47.3%)	1,900億円 (50.9%)	1,943億円 (52.0%)	1,937億円 (52.4%)	919億円 (52.8%)
営業利益	68億円 (1.6%)	125億円 (3.4%)	132億円 (3.5%)	100億円 (2.7%)	25億円 (1.4%)
経常利益	49億円 (1.2%)	100億円 (2.7%)	110億円 (2.9%)	80億円 (2.2%)	20億円 (1.1%)
当期利益	▲49億円 -	65億円 (1.7%)	51億円 (1.4%)	50億円 (1.4%)	0億円 -
為替レート(決済レート)	93円/US\$ 130円/EUR	87円/US\$ 115円/EUR	86円/US\$ 115円/EUR	85円/US\$ 110円/EUR	85円/US\$ 110円/EUR
ROE	▲2.0%	2.7%	2.1%	2.1%	0%
ROA	▲1.2%	1.7%	1.3%	1.3%	0%
1株当たり利益	▲25.0円	33.1円	25.9円	25.8円	0円
設備投資 (減価償却費)	145億円 (141億円)	118億円 (128億円)	104億円 (128億円)	148億円 (132億円)	73億円 (62億円)
研究開発費	217億円	227億円	224億円	233億円	118億円
(フリーキャッシュフロー)					
営業活動	399億円	182億円	226億円	188億円	▲52億円
投資活動	▲127億円	▲109億円	▲97億円	▲122億円	▲68億円
フリーキャッシュフロー	272億円	73億円	129億円	66億円	▲120億円
期末在庫高	695億円	692億円	717億円	688億円	776億円
(要員数)					
国内	9,628人	9,400人	9,315人	9,300人	9,600人
海外	16,030人	17,900人	17,501人	18,400人	19,000人
合計 (*1) (連結範囲変動による増減)	25,658人 (▲1,106人)	27,300人 (0人)	26,816人 (0人)	27,700人 (0人)	28,600人 (0人)
(事業別売上高)					
楽器	2,763億円 (66.6%)	2,680億円 (71.8%)	2,711億円 (72.5%)	2,710億円 (73.2%)	1,315億円 (75.6%)
AV・IT	544億円 (13.1%)	575億円 (15.4%)	570億円 (15.3%)	520億円 (14.0%)	225億円 (12.9%)
電子部品	197億円 (4.8%)	215億円 (5.8%)	206億円 (5.5%)	235億円 (6.4%)	90億円 (5.2%)
リビング (*2)	369億円 (8.9%)	-	-	-	-
その他	275億円 (6.6%)	260億円 (7.0%)	251億円 (6.7%)	235億円 (6.4%)	110億円 (6.3%)
(事業別営業利益)					
楽器	51億円	80億円	86億円	75億円	30億円
AV・IT	14億円	20億円	25億円	15億円	0億円
電子部品	▲6億円	10億円	5億円	0億円	▲10億円
リビング (*2)	4億円	-	-	-	-
その他	5億円	15億円	15億円	10億円	5億円

(単独の状況)

売上高	2,279億円
営業利益	▲98億円 -
経常利益	▲84億円 -
当期利益	▲164億円 -

2,483億円
1億円 (0.0%)
79億円 (3.2%)
39億円 (1.6%)

*1 要員数 = 期末正社員在籍数 + 期中平均正社員外要員在籍数

*2 リビング事業は、2010年3月31日付け一部株式譲渡に伴い、2011年3月期より連結対象から外れました。

当資料の記載内容のうち、将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測には、リスクや不確定な要素などが含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。